

入学までの準備について

☆学習以前に大切なこと

小学校の入学は幼児期から学童期への移行です。6歳頃までに、脳は大人のほぼ90%に達すると言われています。就学可能な脳の発達を促すためには、触覚や視覚などの感覚神経と、手や足などを動かす運動神経の両方を、発達させる必要があります。次のような体験を親子で積み重ねてください。

- 手・足の指をしっかり使う仕事
- 重いものを引っ張ったり、高い所に登ったり、逆さになったりする運動
- 裸足で土・芝生・木・畳などの感触をつかむ遊び
- 描画・物作り・歌・踊り等の表現活動
- 読み聞かせ、手遊び、たくさんのお喋り

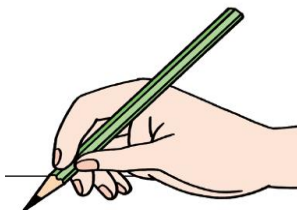
入学までに、多くの文字や計算を教える必要はありません。何もかも初めての1年生は、経験を通して学び、生きる力を身に付けていきます。秋が深まる頃には、それまでの学習と生活によって獲得できた力に驚かされるようになります。バランスのとれた成長・発達を促すために、私たち教職員が学びを助けるよう指導にあたります。家庭と学校が協力して、しなやかで力強い心と体をもった子どもに育てていきましょう。

☆鉛筆を正しく持つことができる

自分の名前だけは書けるようにしておきたいものですが、その時にぜひ、鉛筆の正しい持ち方に注意してください。入学の時点で間違った持ち方の癖がついてしまい、直すのに苦労をしている子どもが多くいます。書くことは毎日、ほぼ毎時間行いますので、正しい持ち方をこの時期に身に付けられるようにすることが大切です。

- 鉛筆の正しい持ち方が身に付かないと、
 - △正しい字、美しい字を書くことが難しい。
 - △書く速度が遅くなる。
 - △学習の姿勢が悪くなり、視力・集中力の低下につながる。
 - △指が痛くなったり、腕が疲れたりして、長時間の学習が続かない。
- 鉛筆の正しい持ち方は、箸の正しい持ち方にも通じます。
- △箸の使い方がうまくいかないと、食事のマナーがくずれていきます。

えんぴつのもちかた



- ・軽く曲げた親指と人差し指で鉛筆の上下を持つ。
- ・軽く曲げた中指の横腹で、鉛筆を下から支える。
- ・薬指も軽く曲げて、中指の下に添える。
- ・小指も軽く曲げて薬指に添え、紙をそっと押さえる。

☆入学までに身に付けておきたい10のこと

1 すべての基本「早寝・早起き・朝ごはん」

- ・毎日同じ時間に同じ事を繰り返すリズムは、子どもの心と体を安定させ、素直に伸びようとする姿勢を育みます。子どもは「育てたとおりに育つ」と言われています。
- ・1年生の学習は午前中が勝負です。早寝早起きを心掛け、毎日10時間程度睡眠時間を確保できるとよいです。
- ・家庭生活は子ども最優先にしてください。夕方以降は家で過ごすようにしてください。

2 あいさつがしっかりとできる

- ・あいさつはコミュニケーションの基本です。友達と仲良くなるためにも、先生など周囲の大人の人と接するためにも、気持ちよく挨拶することが大切です。

3 服の脱ぎ着が一人でできる

- ・体育や水泳学習、発育測定など、脱いだり着たりする機会は多いです。脱いだ服をたたむ習慣もつけておきましょう。学校に着てくる衣服や靴は、着脱の簡単なものを用意してください。（背中にチャックやボタンがあるものや、ひもがついているものは避けてください。）傘やカッパも自分でたためるようにしてください。

4 人の話を最後まで聞くことができる

- ・授業は担任の話をしっかり聞けるかどうかが最重要ポイントとなります。人の話をしっかり聞ける習慣ができていない子とそうでない子とでは、学習・生活面で差が生じてきます。

5 自分の意志を伝えることができる

- ・わからない、トイレに行きたい、体調が悪い、いやなことをされた、困っている、手を貸してほしい等伝えられるようにしてください。

6 自分の持ち物が分かる

- ・自分の持ち物がわかり、用具の使用と片付けが自分でできるようにしましょう。学用品は、ぜひお子さんと一緒に準備・確認をしてください。

7 好き嫌いをしないで食べることができる

- ・偏食・少食を改め、給食時間に合わせ、20～30分で食べ終わるようにしましょう。
- ＊給食で残菜の多い物（緑黄色野菜、ミニトマト、果物、魚、煮物等）
- ・給食では箸を使います。お箸を上手につかえるようにしましょう。

8 「歯磨き、手洗い・トイレを使う」ができる。

- ・ハンカチ・ティッシュは、毎日必ずポケットに入れて持ってきてきましょう。
- ・学校では、洋式と和式トイレがあります。自分でお尻をふけるようにしましょう。

9 いろいろな「手先の動き」を身に付ける。

- ・「ひもを結ぶ、ほどく」「ボタンを留める、外す」「キャップを開ける、閉める」「チャックを開ける、閉める」「ぞうきんをしばる」「紙を半分に折る」など、手先の使う練習をたくさんしましょう。

10 安全に登下校ができる

- ・入学後まもなくすると、子ども達だけの登下校が始まります。学校までの道順と危険な場所を親子でご確認ください。また、自宅の住所や町会名、保護者の名前等を言えるようにしてください。

☆ご家庭で用意していただく学用品等

□ランドセル(キーホルダーやお守り等は付けない) ※防犯ブザーは入学後、学校より配付予定

□通学帽子(校章入り)

□筆箱(鉛筆の位置が定まる箱型の物。学習に集中できるよう、シンプルな無地のもの。)

- ・4B鉛筆5本 赤鉛筆1本 青鉛筆1本
- ・消しゴム(白色で四角い物) ※鉛筆、消しゴムは柄のないもの。

□図工袋(縦 25cm×横 20cm 程度 両側のひもを引いた長さ 43cm 以内。巾着型のもの)

- ・はさみ(使い易く安全な形で、カバー付きのもの) ※図1参照

□給食袋(縦 25cm×横 20cm 程度 ひもを引いた長さ 43cm 以内。巾着型のもの) ※図1参照

- ・箸・箸箱
- ・ランチョンマット(縦 30cm×横 40cm 程度の布)
- ・歯ブラシ *歯磨き粉は使いません。
- ・コップ
- ・マスク(給食用)

□防災頭巾

□体育着袋(縦 32cm×横 28cm 程度) ※図2参照

- ・体育着(校名入り半そでTシャツ 紺色ハーフパンツ 紅白帽子) ※図4参照

□手さげバッグ(縦 35cm×横 43cm 程度) ※図3参照

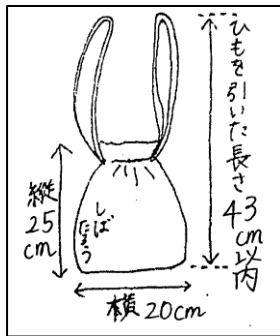
□上履き入れ(縦 30cm×横 20cm 程度)

- ・上履き(白色 足の甲がカバーされる形でゴム底の物) ※図4参照

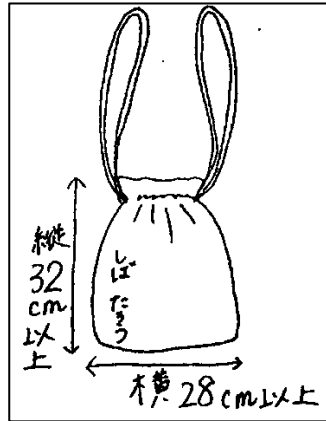
□給食着

給食当番の際(1週間交代・月1回程度)に着用

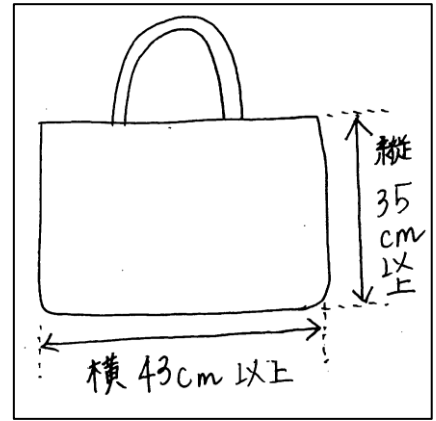
- ・エプロン(胸当て部分のあるもの、頭からかぶるスモッグ(割烹着)タイプのもの)
- ・三角巾(髪の毛が隠れるように頭を覆えるもの、割烹着に準ずる帽子タイプのもの)
※低学年のうちは、自分で脱ぎ着ができるよう、紐で結ぶタイプではなく、かぶるだけのもの
やゴムタイプのものが使いやすいです。
※当番の間は、学校に置いて帰るため、上記の袋の他に給食着用の袋が必要になります。



【※図1 図工袋、給食袋】



【※図2 体育着袋】



【※図3 手さげバッグ】

*図工袋・給食袋は、机の横のフックにかけます。ひもを引いた長さが43cmより長いと、袋の底が床について汚れたり、ひっかかって怪我の原因になったりします。必ず43cm以内になるように調整をお願いします。

*各種袋の縦横のサイズは目安ですが、書かれている袋の大きさより小さいと荷物が入りません。小さくならないように、確認をお願いします。

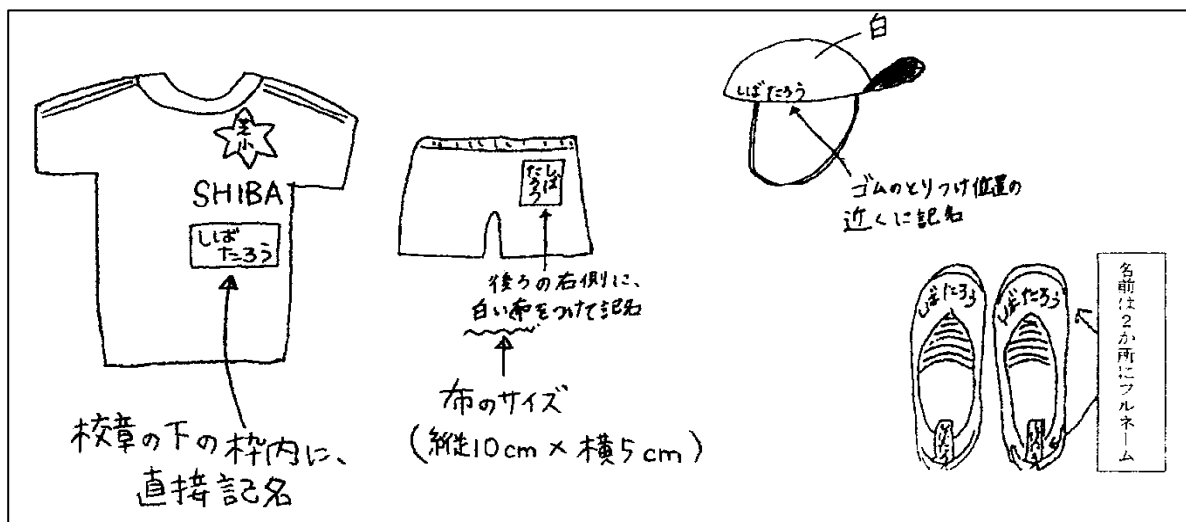
*全ての持ち物や衣類に、油性ペンで記名してください。どの子にも読めるようにひらがなで書いてください。上着や靴、靴下にも必ず記名してください。
入学後も多くの学用品（ノート・糊・下敷き等）が配られますが、物を大切にすることを教える機会ととらえ、その都度もれなく記名をお願いいたします。

*通学帽子、上履き、防災頭巾は次の店で購入できます。

【こみねや 洋品店】

*体育着は、次の店で購入できます。

【山愛スポーツ】



【※図4 体育着・紅白帽子・上履きへの記名方法】